

## 公益財団法人富山県労働福祉基金 2013 年度事業計画 (2013 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日)

公益財団法人富山県労働福祉基金では、付加給付に関する事業として「保養施設の利用補助」「プール利用補助」「リフト券利用補助」「保証料給付」「美術館常設展示等鑑賞券」等の事業を行っています。2011 年 4 月 1 日に公益財団法人へ移行し、公益財団法人の趣旨に立脚して県内の勤労者の福利厚生に役立つ助成を行ってまいりました。

依然景気の動向は厳しい状況ですが、日本経済は不透明ながら少し明るさが出てきた状況とはいえ、家計消費はまだまだ厳しい状況にあります。

限られた予算の中ではありますが、県下の勤労者福祉のニーズに応えるため一層充実した事業展開を行っていきます。

### 1. 付加給付事業計画

#### (1) 宿泊（保養）施設の利用補助事業

2013 年度も県内の宿泊施設（保養所）18 箇所と契約します。宿泊料金については一人年 1 回@800 円の補助を行います。

なお、とやまふくおか家族旅行村は 2007 年度から利用者 0 件の為契約を解除し、追加保養施設として「ひみのはな」と新規契約します。

ひみのはな 〒935-0411 富山県氷見市姿 400 TEL0766-79-1324

株式会社ほよらの宿ひみ（旧国民年金健康保養センター）

ゆ〜とりあ越中、越中庄川荘、立山高原ホテル、グリーンビュー立山、呉羽ハイツ、ホテル溪仙、五箇山荘、白樺ハイツ、磯はなび、とやま自遊館、グランドサンピア立山、いこいの村磯波風、立山グリーンパーク吉峰、桜ヶ池クアガーデン、高岡市自然休養村公社、砺波ロイヤルホテル、金太郎温泉、ひみのはな <以上 18 施設>
--

#### (2) 「夏季プール」の利用補助事業

2013 年度も太閤山ランド内「プール広場」（大人 490 円・高校生 390 円・小中学生 300 円・幼児 100 円を補助）と魚津「ミラージュランドプール」（大人 350 円・小学校 250 円・幼児 100 円を補助）の 2ヶ所の「利用一部補助券」を発行し、勤労者とその家族に補助を行います。（一団体 30 名の上限を原則）

(3) スキー場リフト券の利用補助事業

2013年度のグリーンシーズン券は、立山山麓ゴンドラリフト利用に一人@500円の補助を行います。

また、スキーシーズン券は立山山麓スキー場に加え、西部地区の「IOX-AROSA」スキー場を新規契約し、利用補助を行います。共通利用券とし、一人年1回@800円を勤労者とその家族に補助を行います。(一団体30名の上限を原則)

**IOX-AROSA** 〒939-1681 南砺市アローザ内 TEL0763-55-1326  
南砺市指定管理者 医王アローザ株式会社

(4) 保証料給付事業

「出産・子育て資金」の借り入れの際、富山県勤労者信用基金協会保証で融資(富山県と労働金庫での協調融資)利用の保証料一部を助成します。

また、富山県勤労者生活安定資金融資制度「離職者生活安定資金」の保証料助成についても2014年3月31日まで助成契約期間を延長して昨年同様の助成をします。

(5) 文化施設の利用補助事業

富山県水墨美術館、富山県近代美術館・高岡万葉歴史館・高岡市美術館、富山市郷土博物館・佐藤記念美術館・富山市民俗民芸村・富山市科学博物館・富山市天文台に加え、新規で「高志の国文学館」と契約し、10施設の常設展示観覧料利用券を行います。

**高志の国文学館** 〒930-0095 富山市舟橋南町2-22 TEL 076-431-5492  
公益財団法人富山県文化振興財団

## 2. 情報提供の積極的な対策

(1) 公益財団法人富山県労働福祉基金の付加給付事業の周知徹底を図るため、広報誌「WeI」や「基金だより」を事業所や労働組合、福祉事業団体など約400を超える団体へ発送し、併せて富山市・高岡市勤労者福祉サービスセンターにも会員配布を依頼していきます。

(2) 富山県の広報誌「労働とやま」や労福協の機関紙「とやま労福協」に事業内容を随時掲載していきます。また、2012年度にホームページを更新しましたので、随時情報を提供していきます。 URL:<http://toyama-lwf.jp>

(3) 地域ライフサポートセンターと連携し、各種利用補助券の取り次ぎや各労働組合の機関紙への掲載依頼などPRに努めます。

## 損益予算書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

[単位:円]

勘定科目	2013年度予算額	2012年度予算額	増減
I一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	3,146,000	3,146,166	-166
基本財産受取利息(定期預金)	17,500	17,666	-166
基本財産受取利息(国債・地方債)	3,128,500	3,128,500	0
特定資産運用益	2,127,440	2,127,440	0
特定資産受取配当金	2,127,440	2,127,440	0
受取助成金	4,658,500	4,691,500	-33,000
受取富山県補助金	1,615,000	1,615,000	0
受取市町村補助金	621,000	654,000	-33,000
受取労働団体補助金	2,422,500	2,422,500	0
雑収益	1,000	1,055	-55
受取利息	1000	1055	-55
<b>経常収益計</b>	<b>9,932,940</b>	<b>9,966,161</b>	<b>-33,221</b>
(2)経常費用			0
事業費	9,426,000	9,536,045	-110,045
業務委託料	1,686,000	1,686,000	0
印刷製本費	260,000	265,860	-5,860
通信運搬費	45,000	43,610	1,390
支払手数料	35,000	33,600	1,400
広告宣伝費	0	209,475	-209,475
支払助成金	7,400,000	7,297,500	102,500
管理費	903,000	916,136	-13,136
業務委託料	714,000	714,000	0
会議費	40,000	56,393	-16,393
消耗品費	5,000	13,848	-8,848
印刷製本費	5,000	8,900	-3,900
通信運搬費	19,000	6,000	13,000
支払手数料	1,000	735	265
顧問料	84,000	84,000	0
雑費	35,000	32,260	2,740
<b>経常費用計</b>	<b>10,329,000</b>	<b>10,452,181</b>	<b>-123,181</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	-396,060	-486,020	89,960
当期経常増減額	-396,060	-486,020	89,960
2.経常外増減の部			0
(1)経常外収益			0
経常外収益計			0
(2)経常外費用			0
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額	-396,060	-486,020	89,960
一般正味財産期首残高	303,378,662	303,855,282	-476,620
一般正味財産期末残高	302,982,602	303,369,262	-386,660
<b>II 正味財産期末残高</b>	<b>302,982,602</b>	<b>303,369,262</b>	<b>-386,660</b>

## 損益予算書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

[単位:円]

勘定科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	勤労者福祉事業		
I一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	3,146,000		3,146,000
基本財産受取利息(定期預金)	17,500		17,500
基本財産受取利息(国債・地方債)	3,128,500		3,128,500
特定資産運用益	2,127,440		2,127,440
特定資産受取配当金	2,127,440		2,127,440
受取助成金	3,755,500	903,000	4,658,500
受取富山県補助金	1,615,000		1,615,000
受取市町村補助金	621,000		621,000
受取労働団体補助金	1,519,500	903,000	2,422,500
雑収益	1,000		1,000
受取利息	1,000		1,000
<b>経常収益計</b>	<b>9,029,940</b>	<b>903,000</b>	<b>9,932,940</b>
(2)経常費用			0
事業費	9,426,000		9,426,000
業務委託料	1,686,000		1,686,000
印刷製本費	260,000		260,000
通信運搬費	45,000		45,000
支払手数料	35,000		35,000
支払助成金	7,400,000		7,400,000
管理費		903,000	903,000
業務委託料		714,000	714,000
会議費		40,000	40,000
消耗品費		5,000	5,000
印刷製本費		5,000	5,000
通信運搬費		19,000	19,000
支払手数料		1,000	1,000
顧問料		84,000	84,000
雑費		35,000	35,000
<b>経常費用計</b>	<b>9,426,000</b>	<b>903,000</b>	<b>10,329,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	-396,060	0	-396,060
当期経常増減額	-396,060	0	-396,060
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計			
(2)経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>-396,060</b>	<b>0</b>	<b>-396,060</b>
一般正味財産期首残高			303,378,662
一般正味財産期末残高			302,982,602
<b>II 正味財産期末残高</b>			<b>302,982,602</b>

